

私は、高校までを地元旭川市で過ごし、北見市の大学を卒業後、株式会社イズム・グリーンへ入社。入社して間もなく札幌市の建設コンサルタント会社へ4年間出向し、本社へ帰任しました。

技術士試験は、9回もの挑戦を経て合格することができたのですが、この約9年間で合格に至ったポイントを3点ご紹介させていただきます。

①社内環境：弊社では技術士他資格取得に向けた勉強会を行っており、先輩技術士からの論文添削や、問題分析、模擬試験等を受けることができます。私は、この勉強会を通して論文作成のノウハウや知識を蓄えさせていただき、学習におけるモチベーションを維持することができました。②家庭環境：私には子供が3人おり、うち上2人はここ数年英語や算数などの検定に挑戦するようになりました。順調に結果を出す子供達に、「自分も早く結果を出さなければ、親として面目が立たない」と尻を叩かれた感覚が原動力となり、合格に繋がったと思います。③失敗経験：私は普段からポジティブな思考を意識しており、試験不合格の度に、反省の中で自身の成長も感じていました。そして6回目の挑戦にして筆記試験に合格するのですが、口頭試験で不合格。この時はさすがに絶望感に浸りましたが、下を向いていても意味がないと自分に言い聞かし、何とかその後3回の挑戦で合格。不合格の数だけ、成長できていたと感ずることができました。

最後に、私の精神的・身体的な自己基盤は小学～大学までの野球部の経験にあると思っています。チームワークを創りあげるためのコミュニケーション力、成長・進化するための努力の大切さ、強豪に打ち負けない挑戦心を忘れず、今後も精進・邁進していきたいと思っています。

泉澤 俊彦 (いずみさわ としひこ)

●建設部門(道路)

勤務先

株式会社イズム・グリーン



→次号は、長谷川敦規さん(建設/総合技術監理部門)

私は、1973年青森県生まれ、東北地方育ち、大学も秋田大学で資源地質を専攻していましたが、就職のために北海道釧路市に移り住み、現在、釧路市に本社を置く太平洋総合コンサルタント株式会社に在職しています。

会社の中では、道路構造物、港湾施設、建築物、その他各種構造物、防災地質等に係る地質調査を担当しており、日々、調査目的に合わせた地質調査内容を十分に検討した上で、各種調査試験を実施し、その結果をお客様に報告させて頂いております。

私が業務・仕事を実施する上で大切にしているのは、「対象地質の課題と問題点を見極め必要な地質調査が何であるかを検討すること」と「調査試験により得られた結果に妥当性があるかを吟味すること」と「自分の考えや評価を各段階でお客様に理解して頂くこと」の3つです。地質調査にはいろいろな調査試験方法があるとともに、調査試験の結果に対しても様々な解釈がありえます。よって、地質調査を実施する上では、何に注目して調査試験を実施し、どう評価し、自分の考えをいかにお客様に理解して頂くかが、技術者に求められる重要な能力だと考えています。そうした技術者であるため、日々、理解できていない事象についてはその原理を学ぶように努めるとともに、様々な人とコミュニケーションをとりながら、多様な知識や経験に耳を傾けるよう努めています。

私も50代となっていることから、私自身の技術の研鑽ももちろんですが、若手技術者の育成にも積極的に努めていきたいと考えています。今後とも皆様のご要望にお応えできるよう努めてまいります。よろしくお願い致します。

舘山 誠 (たてやま まこと)

●建設部門(土質及び基礎)

勤務先

太平洋総合コンサルタント株式会社



→次号は、本田充只さん(建設部門)